

■第24回全国スポーツ・レクリエーション祭 スポレク"エコとちぎ"2011 フリー参加種目キンボール大会

2001年の三重県大会、2010年の富山県大会に続いて本年の全国スポーツ・レクリエーション祭(全国スポレク祭)にもフリー参加種目としてキンボールスポーツが採用されました。

全国スポレク祭の種目になるためには、キンボールスポーツを市町村に選んでもらわなければなりません。開催地である下野市では古くからキンボールスポーツを行っていたものの、独自ルールを用いていました。全国スポレク祭で何らかの種目を担当するのであれば、今まで行ってきたキンボールスポーツを行い、この機会に正式ルールを広めていこうと意見がまとまりました。しかしながら、この時点で栃木県には連盟がなく、急遽指導者資格保持者を中心に連盟を立ち上げ、東京都連盟の支援を受け、県内での普及活動が始まりました。1年前に開催されるプレ大会を契機に全国スポレク祭への機運が高まり、11月6日に開催された大会には61チームが集まりました。地元はもちろんのこと、被災地である宮城県や福島県からも参加チームがあり、彼らの元気にキンボールスポーツを楽しむ姿は感動を与えました。

全国スポレク祭を契機に県連盟に講習会の依頼が多く入るようになり、小山市の高校では授業で指導をおこないました。



また、下野市では来年度の大会も企画しています。残念なことに全国スポレク祭は今年で終了しましたが、今後も全国イベントへの参画を目標に活動していきます。

■第12回キンボールスポーツジャパンオープン

7月16日に東京都文京区の文京スポーツセンター主競技場にてチャンピオンズカップを開催しました。この大会は10月にフランス・ナント市で開催されるワールドカップに出場する日本代表選手を選考する大会でもありました。1年前のチャンピオンズカップで代表候補選手が選ばれ、練習会や合宿を行い技術や戦術を磨きましたが、その成果を試す絶好の機会でした。表彰式後に男女各12名の代表選手が発表され、ヘッドコーチ2名より決意表明がなされました。

2012年2月18日、19日には香川県高松市の高松市総合体育館にてフレンドリーカップを開催しました。富山県や石川県、千葉県、東京都、沖縄県からも参加があり、2日間に亘り102チームが熱戦を繰り広げました。香川県連盟は行政並びにスポーツ推進委員会、PTAなど社会教育団体と連携し、県内各地で講習会などの普及活動を行い、愛好者を増やしてきました。特に総合型スポーツクラブとの協力関係を密にしてきたため、ジュニアやレディース部門への地元チームの参加が多く見られました。また、事前の準備が万端だったためマスコミの取材や視察団も多く、地元レフリーのジャッジも正確で、今後のジャパンオープン開催の模範となる大会でした。



■事業報告

左記大会以外に下記の事業を行いました。

スポーツ振興くじ助成事業

●広報紙の作成

ジュニアの育成に関する特集及び主な事業報告、今後の大会予定などを掲載しました。

●競技紹介用パンフレットの作成

キンボールスポーツ初体験の方でも競技内容が分かる冊子を作成しました。

●キンボールスポーツ研修会・大阪2011

9月25日に大阪府茨木市にある梅花女子大学においてルール・レフリー研修会を行いました。

スポーツ振興基金助成事業

●第1回キンボールスポーツ パシフィックカップ

11月13日に兵庫県宝塚市立スポーツセンター総合体育館において上記大会を開催しました。詳細は5頁、6頁をご参照ください。

■2012年度事業予定

第13回キンボールスポーツ

ジャパンオープン・フレンドリーカップ

【日程】2012年9月15日(土)、16日(日)

【場所】岩手県・盛岡市アイスアリーナ

【部門】フレンドリーの部・ジュニア、チャンピオンの部・混合、他

第13回キンボールスポーツ

ジャパンオープン・チャンピオンズカップ

【日程】2012年12月9日(日)

【場所】京都府福知山市三段池公園総合体育館

【部門】チャンピオンの部・男子、チャンピオンの部・女子

第66回全国レクリエーション大会福井大会

種目別全国交流大会キンボールスポーツ大会

【日程】2012年9月23日(日)

【場所】福井県・福井市西体育館

第67回国民体育大会「2012ぎふ清流国体」

デモンストレーションとしてのスポーツ行事

【日程】2012年9月30日(日)

【場所】岐阜県羽島市・かんぼの宿岐阜羽島スポーツ施設

そのほか、2013年度の東京国体と2015年度の和歌山国体でデモンストレーションとしてのスポーツ行事の採用が決定しています。東京国体では中央区、豊島区、荒川区で、和歌山国体では田辺市で大会が開催される予定です。

グランドマスター制度

これまで少数の認定講師がマスター認定を行ってききましたが、各支部よりもっと頻りにマスター認定講習会を開催してほしいという声が多くなり、マスター認定講習会を開催できる講師を生み出すグランドマスター制度ができました。2010年度の合格者で2011年度より活動しているグランドマスターは下記の3名です。

- 濱田順子(兵庫県)
- 岡村光洋(兵庫県)
- 山田弘之(北海道)

※敬称略